

平成 19 年度第 1 回秩父市地域公共交通会議 会議録

とき

平成 19 年 10 月 19 日（金）午後 2 時～

ところ

秩父市役所本庁舎 4 階会議室

出席者

委員 12 名（欠席 2 名）、事務局 6 名

内容

1. 開会

2. 会長あいさつ（会長：田代副市長）

3. 設置の経緯（事務局より説明）

- ・ 地域住民にとって必要不可欠な公共交通機関であるバスの維持に要する事業者や自治体の負担が年々大きくなってきており、山間部に位置する秩父市では、その傾向が顕著である。
- ・ 浦山地区においては秩父鉄道観光バスが 30 年以上運行を行ってきたが、市では、持続可能かつ市民満足度の高い公共交通網を再構築するさきがけとして、浦山地区において、既存スクールバスを活用した市運営バスの運行を検討することとした。
- ・ 昨年 10 月の道路運送法の改正により自家用有償旅客運送の登録制度が創設され、市では、そのうち市町村運営有償運送による交通空白輸送の実施を検討している。
- ・ 登録にあたっては、地域公共交通会議の設置および関係者間での合意がなされることが必要であることから、本会議の設置に至った。

4. 副会長の指名

諸委員（秩父市町会長協議会 会長）を指名。

5. 議事

(1) 浦山地区市町村運営有償運送の登録について事務局より説明。

- ・ 浦山地区住民全員を対象に実施したアンケートの結果を踏まえ、小型車両による、スクールバス活用型の運行を検討。

■アンケートの主な結果

- ・ 65 歳以上の高齢者、免許を保持していない方が非常に多い。
- ・ バスを利用している方は 3 分の 1 程度。用途は通院や買物など生活密着型。
- ・ 公共交通のかたちとしては「定時定路線型」を希望する方が圧倒的多数。

■運行概要（案）

経路（案）：基本的には、秩父鉄道観光バスが運行している経路（秩父駅前～浦山大日堂）を踏襲するが、通院需要や運転手の休憩場所確保などを考慮し、起点は市立病院とする。影森地区（押堀と川尻の間）に 1 か所停留所を新設す

る。浦山毛附地区は旧道経由とする。また、一部の便はスクールバスとして影森小・中学校を経由する。

時刻（案）：1日3～4往復を運行。現行の便から早朝・夜間をカットしたかたちとなる。

児童・生徒の下校時刻が曜日により異なるため、午後のダイヤは複雑なパターンとなるほか、短縮授業時なども一部変更がある。時刻変更は、あらかじめ利用者に周知する。

車両（案）：定員12～15人程度の小型バス車両を使用する。溪流荘を車庫とする。

運賃（案）：3案を提案。基本的な考え方として、小型車両により国道を運行することから、簡便な方法としたい。

〔案1〕現行運賃をベースに50円単位（150円～400円）に揃える案

〔案2〕4ゾーンに分け、初乗り100円or150円、上限400円とする案

〔案3〕2ゾーンに分け、初乗り100円、上限300円とする案

事務局としては、案3が望ましいと考えている。

■次回調整項目

委員間での意見交換の結果、次回会議までに調整する項目を以下の3つとした。

1. 西武観光バス浦山常盤橋線との競合に関する調整
2. タクシー業界との、経路等に関する調整
3. 休校日下り3便など、運行時刻に関する調整

6. その他

次回会議は11月14日（水）を予定。

7. 閉会